

首都高速道路の償還計画と実績の対比

(1) 償還計画

償還計画は、首都高速道路の料金及び料金徴収期間の認可を国土交通大臣から受ける際に、その基礎として策定しているものです。

現行の償還計画は、287.7 kmを対象として、平成16年5月に認可を受けています。

(2) 償還計画の前提条件

償還計画を策定する上での前提条件、概要等は次のとおり。

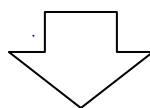
| | |
|---------------|--------------------------------|
| | 平成16年5月認可 |
| 対象路線 | 287.7km |
| 建設費 | 5.4 兆円 |
| 料金水準 (普通車) | 東京 700円 神奈川 600円 埼玉 400円 |
| 金利 | 4.0% |
| 換算起算日 | 平成5年3月 |
| 償還期間 | 47年8ヶ月 |

| | |
|--------------|--|
| 項目 | H16認可時 |
| 金利 | 過去の実績等を基に、将来金利を4.0%と設定 |
| 管理費 | 過去の実績を踏まえた今後の見込みから将来費用を算出 |
| 交通量 | 平成11年度道路交通センサス及び将来人口、GDP予測等により国が算出した将来分布交通量を使用し、計画時における将来利用交通量を首都高速道路公団が算出 |
| 将来人口 (参考) | 国土交通省社会資本整備審議会基本政策部会交通需要推計時(H14.6)に用いている国の推計値(国立社会保障・人口問題研究所推計(H14.1、中位推計)) |
| GDP (参考) | 国土交通省社会資本整備審議会基本政策部会交通需要推計時(H14.6)に用いている国の推計値。 ・ H14～H22 内閣府「構造改革と経済財政の中期展望(H14.1)」 ・ H23～ 国土交通省による推計値 |

(3) 償還計画と実績との対比

償還計画と実績の対比をわかりやすく示すため、償還計画を変換し 1、経営の基本指標である償還準備金繰入、償還準備金に加え、これらのもととなる収入・費用や収支率、償還率について比較を行いました。なお、償還計画は通年分を、実績は半期決算分を計上しています。

平成17年度は、収入は計画2,653億円に対し実績1,248億円と、1,405億円計画値を下回り、また費用は、金利が計画より低かったことに加え、管理費のコスト縮減に努めた結果等により、計画1,366億円に対し実績699億円と、667億円計画値を下回りました。



償還準備金繰入は、計画1,286億円に対し実績549億円と737億円下回り、償還準備金は、計画1兆8,617億円に対し実績1兆8,057億円と計画を560億円下回りました。収支率・償還率も、同様に計画を下回っています。

1 償還計画表からの変換方法は以下のとおりです。

- ・収入は、償還計画上の収入としました。
- ・管理費は、償還計画上の管理費から建設中の高速道路の一般管理費及び営業中の高速道路の改良費などを控除する等により変換しました。
- ・借入金利息等は、償還計画上の借入金利息から建設中の高速道路に係るものを控除しました。
- ・営業中の高速道路の資産総額は、計画作成時の実績値に各年度の供用に伴う道路建設仮勘定からの振替額及び償還計画上の管理費のうち資産に振替わる改良費を加算しました。
- ・償還準備金繰入は、営業中の高速道路の収入から管理費と借入金利息等を差引いて算出したものとししました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入の額を加算しました。

1. 営業中道路の償還状況（平成17年度）

平成16年5月料金認可による。

（単位：億円）

| | 道路資産の総額 (A) | 償還準備金 (B) | 要償還額 (A) - (B) | 償還率 (B) / (A) × 100% |
|---------|----------------|--------------|-------------------|----------------------------|
| 計画 | 60,943 | 18,617 | 42,326 | 31% |
| 実績 | 60,674 | 18,057 | 42,617 | 30% |
| 実績 - 計画 | 269 | 560 | 291 | 1% |

（参考）平成16年度

平成16年5月料金認可による。

（単位：億円）

| | 道路資産の総額 (A) | 償還準備金 (B) | 要償還額 (A) - (B) | 償還率 (B) / (A) × 100% |
|---------|----------------|--------------|-------------------|----------------------------|
| 計画 | 60,251 | 17,330 | 42,921 | 29% |
| 実績 | 60,307 | 17,508 | 42,799 | 29% |
| 実績 - 計画 | 56 | 177 | 122 | 0% |

2. 営業中道路の収入及び費用（平成17年度）

平成16年5月料金認可による。

（単位：億円）

| | 収入 (A) | 費用(B) | | 計 | 償還準備 金繰入 | 収支率 (B) / (A) × 100% |
|---------|-----------|-------|------------|-------|-------------|----------------------------|
| | | 管理費 | 借入金 利息等 | | | |
| 計画 | 2,653 | 589 | 777 | 1,366 | 1,286 | 51% |
| 実績 | 1,248 | 243 | 456 | 699 | 549 | 56% |
| 実績 - 計画 | 1,405 | 346 | 321 | 667 | 737 | 5% |

（参考）平成16年度

平成16年5月料金認可による。

（単位：億円）

| | 収入 (A) | 費用(B) | | 計 | 償還準備 金繰入 | 収支率 (B) / (A) × 100% |
|---------|-----------|-------|------------|-------|-------------|----------------------------|
| | | 管理費 | 借入金 利息等 | | | |
| 計画 | 2,609 | 664 | 857 | 1,521 | 1,088 | 58% |
| 実績 | 2,636 | 598 | 773 | 1,371 | 1,265 | 52% |
| 実績 - 計画 | 27 | 67 | 84 | 150 | 177 | 6% |

3 . 前提条件 (平成 1 7 年度)

平成 1 6 年 5 月料金認可による。

| | 新規借入に係る 金利 (%) | 交通量 (百万台) | 人口 (1 都 3 県) (千人) (参考) | G D P (兆円) (参考) |
|---------|-------------------|--------------|-----------------------------|--------------------|
| 計画 | 2.620% | 415 | 34,126 | 552.0 |
| 実績 | 0.683% | 209 | | |
| 実績 - 計画 | 1.937% | 206 | | |

注 1) 計画金利は、平成 1 6 年 5 月認可の償還計画における平成 1 7 年度金利である。

注 2) 人口は首都圏の、G D P は全国の数値であり、計画値 (人口) については、平成 1 7 年度及び平成 2 2 年度の推計値から平成 1 7 年度の数値を記載している。

注 3) 新規借入に係る金利、交通量の実績欄は、半年分を記載している。

(参考) 平成 1 6 年度

平成 1 6 年 5 月料金認可による。

| | 新規借入に係る 金利 (%) | 交通量 (百万台) / 年 | 人口 (1 都 3 県) (千人) (参考) | G D P (兆円) (参考) |
|---------|-------------------|------------------|-----------------------------|--------------------|
| 計画 | 2.183% | 408 | 33,983 | 543.8 |
| 実績 | 1.738% | 407 | 34,196 | 534.0 |
| 実績 - 計画 | 0.445% | 1 | 213 | 9.8 |

注 1) 計画金利の平成 1 6 年度は予算金利である。

注 2) 人口は首都圏の、G D P は全国の数値であり、計画値 (人口) については、平成 1 2 年度及び平成 1 7 年度の推計値から平成 1 6 年度の伸び率を算出して求めている。

